

経済マンスリー [アジア]

軟調な輸出が成長ペースを下押し

アジア主要国・地域の経済は、緩やかな成長が続いている。これまでに発表された1-3月期の実質GDP成長率をみると、ベトナム（前年比+6.0%）は高めの伸びを示したが、シンガポール（同+2.1%）は昨年10-12月期並みとなり、韓国（同+2.4%）や中国（同+7.0%）では前期から減速するなど、総じて勢いに欠けた。

内訳をみると、消費を中心に内需は底堅く、成長の下支えとなっている。ベトナムでは、資源価格下落に伴うインフレ率低下を通じた家計の実質購買力の改善によって、1-3月期の小売売上高は前年比+13.9%と堅調を維持した（第1表）。また、シンガポールでも、良好な雇用・所得環境を背景に同じく二桁の伸びとなった（2月まで）。但し、韓国で所得の伸び悩みや高水準の家計負債等を背景に消費の低迷が続いているなど、不調な国も含まれている点には留意が必要である。

一方、輸出は総じて軟調であり、成長を下押ししている。各国・地域の1-3月期の輸出額をみると、2014年10-12月期から伸びが鈍化ないし減少幅が拡大したところが大半である。特に資源の純輸出国であるマレーシアは、石油関連製品を中心に前年比▲12.4%と大幅に減少したほか（2月まで）、インドネシアでも二桁減となった。輸出品を資源・非資源に分けてみると、資源の落ち込みが目立っており、資源価格下落の影響が勿論大きいとみられるが、非資源についても、相対的には底堅いながら足元にかけて減速している点が注目される（第1図）。背景には欧州経済の停滞に加え、中国や資源国など新興国での景気減速があるとみられる。他方、ベトナムの輸出は、外資企業の進出などを背景に、携帯電話や電子製品等を中心に底堅く推移した。

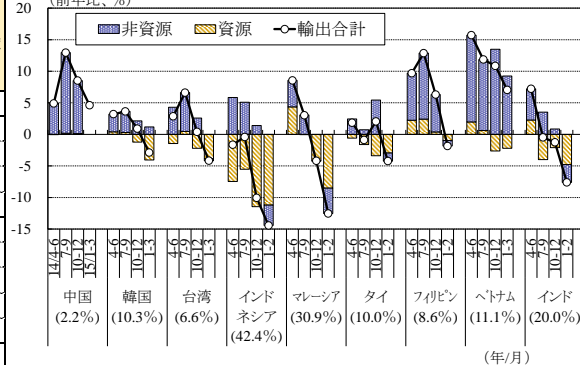
今後のアジア経済は欧州や中国向けの輸出が伸び悩むなか、堅調な消費を中心に内需の下支えが期待される。但し、タイや韓国、マレーシアでは、高水準の家計負債を背景に、負債拡大を前提とした消費の拡大が難しくなりつつあるほか、返済負担増加が消費の重石となる可能性に留意が必要だ。

第1表: アジア主要国・地域の経済指標

	小売売上高 (前年比, %)			消費者物価上昇率 (前年比, %)			輸出 (前年比, %)			輸出 依存度 (%)	
	2014年		2015年	2014年		2015年	2014年		2015年		
	7-9 月期	10-12 月期	1-3 月期	7-9 月期	10-12 月期	1-3 月期	7-9 月期	10-12 月期	1-3 月期		
中国	11.9	11.7	10.5	2.0	1.5	1.2	12.9	8.6	4.9	22.7	
N E S	韓国	1.4	0.8	▲0.6	1.4	1.0	0.6	3.6	0.9	▲2.9	50.6
	台湾	3.1	1.7	1.9	1.5	0.8	▲0.6	6.6	0.4	▲4.2	72.9
	香港	1.6	0.2	▲2.0	4.8	5.1	4.4	5.9	1.2	4.7	220.7
S	シンガポール	3.5	6.1	13.5	1.0	▲0.0	▲0.3	▲0.1	▲7.1	▲13.7	187.6
A S E	インドネシア	15.3	11.0	15.7	4.4	6.5	6.5	2.3	▲10.3	▲11.4	23.1
	マレーシア	▲8.8	3.8	▲0.5	3.0	2.8	0.7	3.0	▲4.1	▲12.4	79.6
	タイ	1.0	▲0.0	▲0.0	2.0	1.1	▲0.5	▲1.8	1.6	▲4.8	75.0
	フィリピン	37.6	30.3	21.6	4.7	3.6	2.4	12.9	6.3	▲1.8	29.1
N S	ベトナム	10.2	15.2	13.9	4.3	2.6	0.7	11.9	10.8	7.0	80.6
S	インド	16.8	1.8	▲5.9	6.7	4.1	5.2	1.0	▲0.1	▲16.1	23.9

(注) 1. 『小売売上高』は、マレーシア・フィリピン・インドは自動車販売台数で代替。
 『2015年1-3月期』は、NIES・マレーシア・タイは2月まで。
 2. 『輸出』はドルベース。マレーシア・タイ・フィリピンは2月まで。
 『輸出依存度』は名目GDPに対する輸出の割合。台湾は2013年、その他の国は2014年の実績。
 (資料) 各国統計、IMF統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

第1図: アジア主要国・地域の資源・非資源品目別輸出額
(前年比, %)



(注) 1. 『資源』は原料、鉱物性燃料、動植物性油脂等。中国は3月の内訳が未発表。
 2. 国名下の括弧内の数字は2014年の輸出に占める資源のシェア。
 (資料) 各国統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

照会先：三菱東京 UFJ 銀行 経済調査室 竹島 慎吾 shingo_takeshima@mufg.jp
福地 亜希 aki_fukuchi@mufg.jp
土屋 祐真 yuuma_tsuchiya@mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。